

令和2年度安曇野市文書館運営審議会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 会議名 | 令和2年度安曇野市文書館運営審議会 |
| 2 | 日時 | 令和2年10月8日(木) 午後1時30分から午後3時まで |
| 3 | 会場 | 安曇野市役所本庁舎4階会議室403 |
| 4 | 出席者 | 小宮山委員(リモート)、小松委員、瀬畑委員(リモート)、高原委員、曾根原委員 |
| 5 | 市側出席者 | 橋渡教育長、平林教育部長、山下文化課長、財津博物館係長、平沢文書館長、逸見博物館係主査、青木博物館係主査、那須野文書館職員、丸山文書館職員 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 令和2年10月16日 |

会議事項等

○会議の概要

- 1 開会(山下文化課長)
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員の委嘱
- 4 協議事項

(1) 令和2年度事業中間報告について

事務局 ・資料1について説明。

委員 ・堀金地区の地域資料調査について、すでに新たな調査先があったことは大変喜ばしい。調査に関して所有者の方はどのように捉えていたのか。また、調査の開始について積極的な呼びかけは行ったのか。

事務局 ・堀金地区で調査の申し出のあった1件は以前から自治体誌などで取り上げられている家である。以前から調査に関して協議を進めてきていたが、今年度資料整理の体制が整ったので受け入れを行った。

委員 ・文書館の体制が整ったことにより、文書所有者も安心して資料を預けられるようになったと思う。今後も積極的に調査をすすめていただきたい。

委員 ・長野県内には史資料レスキューの動きがある。文書館でも寄贈・寄託を受けた地域資料や、市の重要な公文書を保管しているのだから、災害対応時のマニュアルや史資料レスキューの体制を構築していただきたい。

事務局 ・今後の課題として災害対応の体制は早急に検討していきたい。火災については、文書館で防災訓練を行っているのだから、特に収集資料の取扱いについても改めて確認したい。

委員 ・市ホームページから企画展に関する動画は見ることはできないのか。

事務局 ・YouTube からであれば見ることができる。

委員 ・現在、文書館のホームページには過去の企画展のページが残っていない。動画は企画展が終了した後も、視聴したいという要望はあるので、過去の企画展の記録は文書館のページに掲載し続けた方がよい。

委員 ・地域資料の価値について所有者はどのように考えているのか。自宅に残された古い文書に価値があるということを知ってもらうことは大変大切なことである。そのために呼びかけ等は行っているのか。

事務局 ・文書館だよりを通して全体に呼びかけることは行っている。しかし、実際に文書所有者に届くのは、地域の事情に詳しい市民の方々を通じた情報交換であると考えている。今後も地域の古文書サークルや郷土史研究を行っている方々との関係を築いていきたい。

(2) 令和3年度事業方針について

事務局 ・資料2及び資料4について説明。

ア 事業方針について

委員 ・公文書に関する市職員向けの研修を継続的に行っていただきたい。

委員 ・地域資料の許諾を取る作業は大変な作業であるが、地域資料の大切さをしっかり呼びかけていただきたい。

委員 ・新たな地域資料の掘り起こしは重要な作業だと感じる。しかし、歴史的な背景から資料そのものが

残されていない場合も考えられる。当時の出版物や刊行物の調査にも目を向けてほしい。特に昭和・平成の資料の調査収集には、他課との連携も強化してすすめていただきたい。

- 事務局
 - ・公文書の評価選別作業は、一定の知識や熟練が必要と考えるため、職員研修に力を入れてほしい。
 - ・戦前の刊行物については、所有者と連絡を取り合うなどして収集に努めている。現物の寄贈・寄託の了解が得られなくても写真を撮るなどして情報を収集していきたい。
 - ・評価選別は原課で1回目、文書館で2回目の確認を行い二重に確認している。評価選別を行う職員の意識も向上させるため職員研修は積極的に行いたい。
- 委員
 - ・地域資料の調査は、三郷・堀金地域のみか。83区の区有文書は保存管理に困ったら廃棄される恐れもある。調査だけでなく受け入れも視野に入れてほしい。
- 事務局
 - ・三郷地区は村誌編さん時に複写した資料の許諾作業を行っているため特記している。堀金地区は他4地区に比べて収集できている資料が少ないため、重点的に行っていく方針である。他3地域の調査も併せて進めていく。83区の資料は、指摘のとおり受け入れを含めて進めたい。

イ 市誌編さん事業について

- 委員
 - ・市誌編さん事業に市民を巻き込む仕組みはどのように考えているのか。
- 事務局
 - ・市誌編さん委員会ではSNS等を通して、調査状況などを逐次発信していく方針を提案されている。市ホームページの改修に合わせ、安曇野市の文化や歴史に関する事項を掲載したページを作成したい。市誌編さん委員会にはNPO団体の方も入っているので意見を取り入れていきたい。
- 委員
 - ・市民から自発的に来てもらうだけでなく、市民を集めて情報を集める方法もできるのではないか。行事を行って市民を巻き込むこともできるのではないか。座談会を行い、聞き取ったオーラルヒストリーを市誌に活かしている事例もある。岐阜市史では映像資料集や写真集を出している。インターネットでは写真・映像を活用した方が伝わりやすいと思う。
- 事務局
 - ・写真や映像資料は市史編さん事業の中で取り入れ反映させていきたい。市誌のための情報収集を兼ねたイベントも検討したい。昨年度は『明科の宝』を作成した。中学校での活用や写真の活用は市誌テストケースになっている。
- 委員
 - ・「子ども版」の取扱いについて資料編と合冊するのか。また、書籍化はしないのか。
- 事務局
 - ・「子ども版」は資料編とは別に刊行する。刊行の構成については、提示した資料はあくまで素案であるため今後具体的に検討していきたい。
- 委員
 - ・PDF等のデータでは文章を続けて読むことは難しいと感じる。全体の繋がりを読むために書籍版も刊行していただきたい。
- 委員
 - ・写真、図判は本文の中でも良いと思うが、主要な非文字資料の活用を兼ねた図録を作成してほしい。資料編の体裁は今後十分検討していただきたい。
- 委員
 - ・「子ども版」は教科書等に合わせて横書きで作っていただきたい。

(3) 文書館文書管理検索システムの改修について

- 事務局
 - ・資料3について説明。
- 委員
 - ・「要審査」文書の公開は良いことなのですすめていただきたい。インターネット上に検索システムを公開する予定はあるのか。
- 事務局
 - ・インターネット上への検索システムの公開は、文書館業務検討委員会でも指摘されていたことである。文書館のホームページの充実も図りたい。スケジュールは予算も絡むことなので、議論が進めば行っていきたい。
- 委員
 - ・ホームページの充実は今後も積極的に検討していただきたい。できれば館独自のwebページを設けていただきたい。

(4) その他

- 事務局
 - ・今期の委員の任期は今年度末となっている。次年度以降の委員の選任については追って連絡する。

5 閉会 (山下文化課長)

以上